

みずほCustomer Desk Report 2023/03/20号(As of 2023/03/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	133.61
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.40	1.0614	141.64	1.2108	0.6664
SYD-NY High	133.66	1.0685	142.21	1.2201	0.6725
SYD-NY Low	131.56	1.0611	140.19	1.2103	0.6651
NY 5:00 PM	131.85	1.0666	140.59	1.2181	0.6699
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,861.98	▲ 384.57	日本2年債	▲0.0800%	▲0.0100%
NASDAQ	11,630.51	▲ 86.76	日本10年債	0.2800%	0.0000%
S&P	3,916.64	▲ 43.64	米国2年債	3.8427%	▲0.3282%
日経平均	27,333.79	323.18	米国5年債	3.5062%	▲0.2253%
TOPIX	1,959.42	22.32	米国10年債	3.4361%	▲0.1410%
シカゴ日経先物	26,790.00	▲ 315.00	独10年債	2.1260%	▲0.1150%
ロンドンFT	7,335.40	▲ 74.63	英10年債	3.2770%	▲0.1505%
DAX	14,768.20	▲ 198.90	豪10年債	3.4170%	0.0700%
ハンセン指数	19,518.59	314.68	USDJPY 1M Vol	13.09%	0.42%
上海総合	3,250.55	23.65	USDJPY 3M Vol	13.32%	0.47%
NY金	1,973.50	50.50	USDJPY 6M Vol	12.13%	0.42%
WTI	66.74	▲ 1.61	USDJPY 1M 25RR	▲2.10%	Yen Call Over
CRB指数	254.66	▲ 1.99	EURJPY 3M Vol	12.96%	▲0.03%
ドルインデックス	103.71	▲ 0.71	EURJPY 6M Vol	12.13%	0.15%

東京	スイス中銀からのスイス大手銀行への支援策が確認されて前日買戻しが進んだドル円は、買いの勢いが失速し東京時間は133.40レベルでオープン。仲値にかけて小幅に上昇するも、イベント通過後で手がかり不足であることから上値は重く、米金利が低下するなかでじり安の展開となり、132.96レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.96レベルでオープンし、じり安で推移。その後、経営破綻した米地銀の持ち株会社が連邦破産法11条の適用を申請したことが報道され、リスクオフの円買いが優勢に、クロス円の下落も伴ってドル円は132.52まで売られ、結局132.64レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台後半でスタート。昨日米地銀の救済案報道が好感されたことからドル買いが優勢となったが、その後一連の米金融システムへの不安や将来的な金融規制強化によって金融環境引き締まる見方が示されたことからドル売りに転じ、132.75まで下落。欧州勢参入後は133.35まで買い戻されたものの、その後米地銀が米連邦破産法第11条を申請したとのヘッドラインが伝わると再び反落し、132.64レベルでNYオープン。オープン後も海外時間の流れを引継ぎ売りが続き、10時に発表された米3月ミシガン大学消費者マインド(速報値)並びに1年期期待インフレ率が予想を下回り、米経済の減速及び利上げ期待後退が懸念され、132.48まで上昇する展開もあったが長続きはせず。同時に米株式市場の下げ幅拡大を受けて、市場は再びドル売りに転じ131.82まで下落。午後は売りが一服し132.31まで戻すもリスクオフムードが強く、米金利低下に131.56まで下値を拡大し、結局131.85レベルでクロス。一方、海外市場でのユーロドルは1.06台前半でスタート。米金融規制強化を警戒したドル売りや、ECB理事会メンバーのミュー氏の次回も利上げ示唆の発言を受け、ユーロドルはじりじり1.0670まで上昇したが、その後ユーロが売り戻される展開となり1.0629レベルでNYオープン。米経済指標発表を受けて一時1.0619まで小幅下落したが、その後米金利低下及び週末のポジション調整からのユーロ買いが優勢となり1.0675まで上昇。午後後も高値圏での小動きが続き、一時1.0685まで上昇し日通り高値を更新するもその後小幅反落し、結局1.0666レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 木村・鈴木

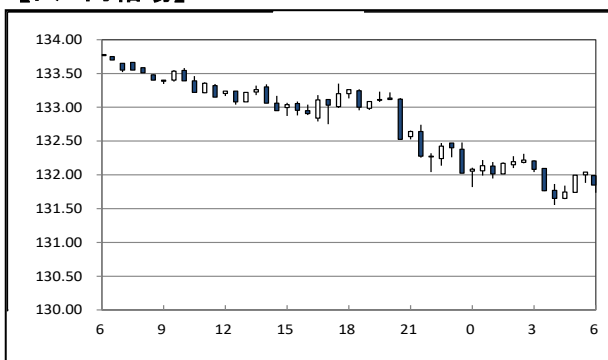
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月17日	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 0.0%	0.2%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	3月 63.4	67.0

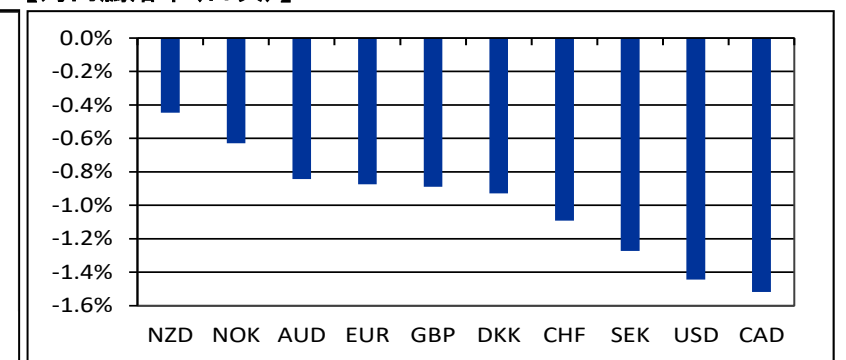
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月20日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	2月 -1.4%/14.5%	-1.0%/17.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.00-133.00	1.0550-1.0750	139.50-143.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は131円台まで下落。東京時間133.40近辺でスタートした後米金利の低下と共にじり安の展開となり、海外時間に一時買い戻されるも、米地銀が米連邦破産法第11条を申請したとのヘッドラインを受けて下落。米3月ミシガン大学消費者マインドが予想を下回り、株式市場でのリスクオフムードが相場を下押しし131.82まで付けて131.85レベルでクローズとなった。

本日のドル円相場は、信用不安のあったスイス銀行が買収されるとの報道がでたことで最悪の事態を逃れたことから金融不安の払しょくによりドルの買戻しが入りやすい状態だが、追加のヘッドラインに対する警戒感には抜けきらない状況であり、上値を試した後は再度じりじりと売られやすいと予想。先週後半から欧州通貨も大きく売られている一方、円はリスクオフ時の逃避通貨として選択されていることから、クロス円も値動きが激しくなっているため注意したい。